

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月25日

日本原子力発電健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	28069
組合名称	日本原子力発電健康保険組合
形態	単一
業種	電気・ガス・熱供給・水道業

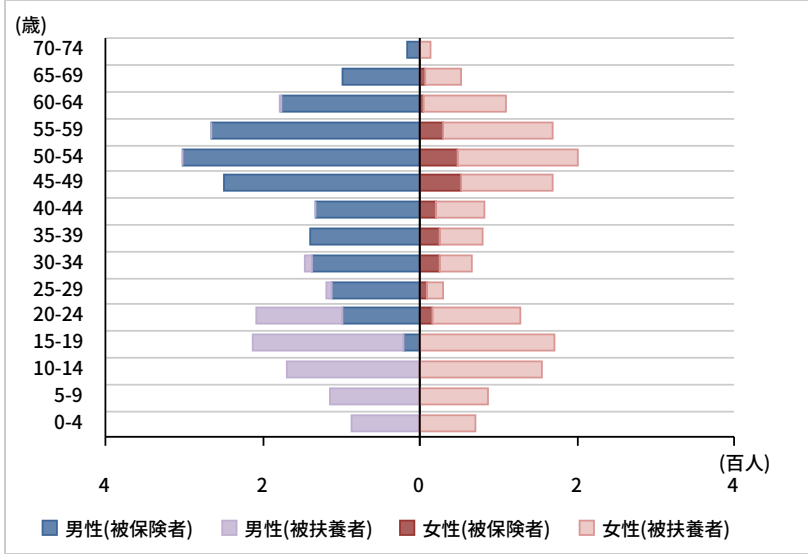
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	1,977名 男性88% (平均年齢46.71歳) * 女性11.0% (平均年齢44.36歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	4,022名	-名	-名
適用事業所数	4カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	4カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	78%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	5	-	-	-	-
	保健師等	7	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,675 / 1,997 = 83.9 %	
	被保険者	1,213 / 1,299 = 93.4 %	
	被扶養者	462 / 698 = 66.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	183 / 282 = 64.9 %	
	被保険者	183 / 238 = 76.9 %	
	被扶養者	0 / 44 = 0.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	4,390	2,221	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	7,915	4,004	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	6,729	3,404	-	-	-	-
	疾病予防費	65,265	33,012	-	-	-	-
	体育奨励費	350	177	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	84,649	42,817	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,347,168	681,420	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	6.28		-		-		

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	20人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	98人	25～29	113人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	137人	35～39	140人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	133人	45～49	249人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	301人	55～59	266人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	177人	65～69	98人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	15人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	16人	25～29	8人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	24人	35～39	24人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	21人	45～49	53人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	47人	55～59	29人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	5人	65～69	6人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	88人	5～9	115人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	169人	15～19	193人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	110人	25～29	7人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	10人	35～39	0人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	71人	5～9	86人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	155人	15～19	171人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	112人	25～29	20人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	40人	35～39	54人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	62人	45～49	117人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	154人	55～59	139人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	104人	65～69	46人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	13人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

男女ともに平均年齢が40代で生活習慣病との関わりが大きい

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- 健診、検査等、疾病の予防や早期発見・治療に寄与する事業が多い。
- 事業の実施、費用の一部補助、機会の提供と、事業と趣旨によって内容が異なる。
- 体育奨励事業が1事業しかなく、参加率も低い。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	広報誌による意識醸成
保健指導宣伝	ホームページ・イントラ
保健指導宣伝	健康優良者表彰
保健指導宣伝	健康管理アプリの導入

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診<被保険者>
特定健康診査事業	特定健診<被扶養者>
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	主婦健診
疾病予防	脳ドック
疾病予防	がん検査
疾病予防	歯科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	禁煙啓蒙事業
疾病予防	動脈硬化検査
体育奨励	ウォーキング
その他	後発医薬品の利用促進

事業主の取組

1	定期健康診断
2	健康診断後の保健指導
3	禁煙対策
4	健康管理室
5	メンタルヘルス対策

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2	広報誌による意識醸成	【目的】健康づくり等に係る情報提供による意識醸成 【概要】広報誌「のびにこ」による健康意識の向上への啓蒙活動	全て	男女	18～74	加入者全員	913	【令和4年度】 ・発行 2回/年 ・発行部数2,100部 ・制作委託会社変更（頁数4頁増に変更）	・健保関係最新情報の提供 ・被扶養者も意識した生活のなかでの健康情報の提供	・読み易さ、親しみ易さの向上 ・利用率の向上	4
	2	ホームページ・イントラ	【目的】健保・保険事業に係る情報発信 【概要】保健事業の紹介、各種情報の発信、意見等の聴取	全て	男女	0～74	被保険者	-	【令和4年度】 ・ホームページの運営	・保険料率、法令改正該当箇所の更新	・掲載内容の充実・刷新 ・情報の随時更新 ・利用率の向上	4
	2	健康優良者表彰	【目的】健康意識の維持と向上、健康状態への賞詞 【概要】1年間保険給付のなかった被保険者の表彰	全て	男女	18～74	被保険者	265	【令和4年度】 ・該当者74名 ・記念品授与者51名	-	-	1
	2	健康管理アプリの導入	【目的】健康意識の向上 【概要】・健康管理アプリによる健康状態に合ったタイムリーな情報発信 ・健診結果を年齢換算する「健康年齢」指標を活用した健康状態の把握向上	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1,407	【令和4年度】 ・健康関連情報の提供およびイベント開催 ・WEBサービス登録者微増	・広報誌での継続周知 ・専門業者の活用 ・新規会員への加入（登録）案内の配布	・WEBサービス登録者（利用者）の増加	2
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診<被保険者>	【目的】・生活習慣病の予防、早期発見、早期治療・生活習慣病への意識醸成 【概要】被保険者に対し、事業主が実施する定期健診との併催	全て	男女	40～74	被保険者	-	【令和4年度】 対象者 1,363名/受診者 1,258名 (受診率 92.3%)	・法定健診時での併催による定着 ・事業主との共同事業 ・就業時間内の健診の実施 ・受診結果についてのフォローアップの実施（事業主）	・実施結果の事業主との共有	4
	2	特定健診<被扶養者>	【目的】・生活習慣病の予防、早期発見、早期治療・生活習慣病への意識醸成 【概要】被扶養者（主婦）健診時に実施	全て	男女	40～74	被扶養者、基準該当者	-	【令和4年度】 対象者（任継者含） 462名 受診者 698名 (受診率 66.2%)	・コロナ禍での感染拡大防止対策を行った ・継続実施による定着化	・オンライン方式での実施推進 ・受診率の向上 ・要所見者の症状改善への連携	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病の改善・特定保健指導の参加率の向上 【概要】特定保健指導基準合致対象者への面談等による生活改善指導（6ヵ月）の実施	全て	男女	40～74	基準該当者	8,344	【令和4年度】 ・事業所単位による分割実施 ・対象者 238名のうち受診者183名 ・動機付け支援 74名/92名 ・積極的支援 109名/146名 (ワライン7名含む)	・外部機関の効果的な活用 ・コロナ禍での感染拡大防止対策を行い全地区で展開 ・一部オンライン面談施行	・全社展開 ・実施による成果の向上	3
疾病予防	3	生活習慣病予防健診	【目的】・疾病の早期発見、早期治療・健康状態の把握・生活習慣の改善 【概要】在職被保険者のうち希望者への生活習慣病に係る健診機会の提供	全て	男女	18～74	被保険者	18,729	【令和4年度】 対象者 1,873名 実施者 1,714名 (受診率 92%)	・啓蒙活動の強化	・事業主の法定健診との住み分け	4
	3	婦人科健診	【目的】乳がん、子宮がん等の疾病の早期発見、早期治療 【概要】女性被保険者のうち希望者への健診機会の提供	全て	女性	18～74	被保険者	1,200	本店地区は外部医療機関で実施（10月～1月） 東海・敦賀地区は主婦健診時に実施（9月） 【令和4年度】 対象者 222名 受診者 165名 (受診率 74%)	・事業主との共同事業 ・就業時間内の健診の実施 ・継続実施による定着化	・受診率の向上 ・要所見者の症状改善への連携	3
	3	主婦健診	【目的】生活習慣病、乳がん・子宮がん等の疾病の早期発見、早期治療 【概要】女性被扶養者のうち希望者への健診機会の提供 本店：契約医療機関における健診 現業機関：訪問集合健診	全て	女性	18～74	被扶養者	17,435	本店地区は外部医療機関利用（9月～1月） 【令和4年度】 対象者（任継者含） 774名 受診者 531名 (受診率 68.6%)	・コロナ禍での感染拡大防止対策を行った ・継続実施による定着化	・オンライン方式での実施推進 ・受診率の向上 ・要所見者の症状改善への連携	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	3	脳ドック	【目的】脳血管疾患の早期発見、早期治療 【概要】・35歳以上のうち希望者への検査費用の一部補助 ・被保険者の40歳・50歳・60歳については全額補助	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	3,013	【令和4年度】 受診者 82名 (40歳:8名/36名、50歳:35名/83名、60歳:22名/43名) ※40.50.60歳の被保険者は無償対象	・他健保には少ない事業 ・無償対象者へのメール案内	・必要性と内容の認識不足	1
	3	がん検査	【目的】悪性腫瘍の早期発見、早期治療 【概要】・生活習慣病予防健診時の胃部レントゲン検査、喀痰検査、検便検査 ・在職被保険者のうち希望者への腫瘍マーカー検査機会の提供 ・40歳50歳60歳については、腫瘍マーカー検査費用全額補助	全て	男女	18～74	被保険者	661	・希望者への腫瘍マーカー検査(4種)機会の提供 ・40歳・50歳、60歳到達者の被保険者の希望者は無償 【令和4年度】 受診者 538件 (40歳:27名/36名、50歳:54名/80名、60歳:27名/41名)	・事業主との共同事業 ・就業時間内の検査の実施	・受診率の向上	1
	3	歯科健診	【目的】・歯科疾病者数の減少 ・歯科に係る健康意識の醸成 【概要】在籍被保険者のうち希望者への歯科検診機会の提供	全て	男女	18～74	被保険者	4,007	生活習慣病検診(秋)時に併せ同時実施 【令和4年度】 受診者 812名、対象者 1873名 (43.4%)	・事業主との共同事業 ・啓蒙活動の強化	・受診率の向上	2
	3	インフルエンザ予防接種補助	・接種率の向上	全て	男女	0～74	加入者全員	3,094	【令和4年度】 受診者 1,441名/対象者 3,979名 (受診率 36.2%)	・医療機関の自由選択 ・周知活動の実施 ・事業主による集団接種 ・オンライン申請の実施	・接種率の向上	1
	2,3,4,5,8	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙への勧奨、意識醸成 【概要】・禁煙に係る啓蒙活動・イントラ、広報誌、健康管理アプリによる禁煙意識醸成への情報発信	全て	男女	20～74	被保険者	-	・コロナ禍の影響もあり禁煙治療プログラム修了者なし	-	喫煙者への啓蒙	1
	2,3	動脈硬化検査	【目的】動脈硬化状況の評価 【概要】検査装置を用いて血管の硬さ、動脈の詰まり状況の評価	全て	男女	18～74	被保険者	1,194	【令和4年度】 ・今年度は東海・敦賀の主婦健診受診者を対象に実施 受信者:330名(62.2%) 東海 164名/259名 敦賀 166名/271名	・東海・敦賀地区での主婦健診と同時実施	・次回実施方法の検討	3
体育奨励	5	ウォーキング	○ウォーキングによる運動の習慣化と健康意識の醸成 ○ウォーキングによるメタボ対策	全て	男女	10～74	被保険者,基準該当者	29	【令和4年度】 ・レッツウォーク達成者88名	・Peppu利用および特別企画の導入	・参加者の増加	1
その他	7	後発医薬品の利用促進	【目的】ジェネリック医薬品に係る情報提供による利用促進 【概要】健康管理アプリを利用した差額通知の発信	全て	男女	0～74	加入者全員	-	-	・Peppu内でのお知らせ	-	2

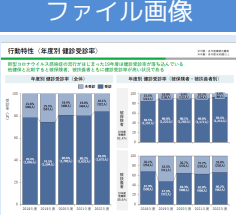

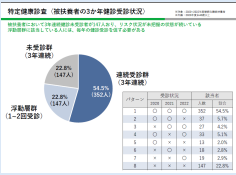
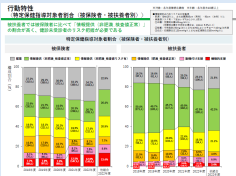
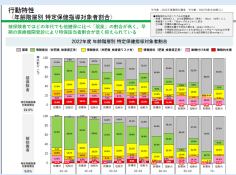
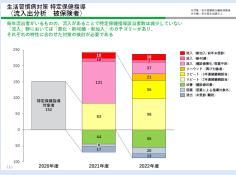
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

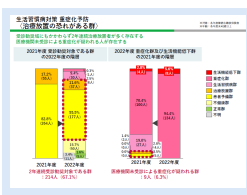
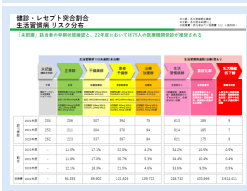
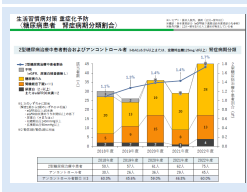



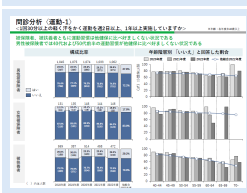
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健康診断各種	被保険者	男女	18 ～ 74	各地区事業所にて実施	・就業時間内の健診の実施	-	-
健康診断後の保健指導	定期健康診断後のフォロー 産業医・保健師による面談	被保険者	男女	18 ～ 74	有所見者への症状改善のためのフォロー	・産業医、保健師による計画的な実施	-	-
禁煙対策	禁煙対策 禁煙への啓蒙活動	被保険者	男女	18 ～ 74	喫煙室の廃止、縮小	-	-	有
健康管理室	社員の健康管理・健康相談窓口	被保険者	男女	18 ～ 74	随時実施	・保健師の常駐によるきめ細かい健康管理 ・突発的な案件に対する、迅速な対応	-	-
メンタルヘルス対策	心の健康管理	被保険者	男女	18 ～ 74	・外部機関による「ココロの健康診断」を実施し、健康状態の把握 ・メンタルヘルスの医師による講演会	・利便性 ・有所見者、希望者へのフォロー体制の設置	-	-

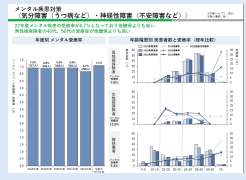
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		健診受診率	特定健診分析	-
イ		健診受診率 年齢階層別	特定健診分析	-
ウ		被扶養者の3か年健診受診状況	特定健診分析	-
エ		特定保健指導対象者割合（被保険者・被扶養者）	特定保健指導分析	-
オ		特定保健指導対象者割合（年齢階層別）	特定保健指導分析	-
カ		生活習慣病対策（流入出分析 被保険者）	特定保健指導分析	-

<p>キ</p> 	<p>生活習慣病対策 重症化予防（治療放置の恐れのある群）</p>	<p>健康リスク分析</p>	-
<p>ク</p> 	<p>健診・レセプト突合割合 生活習慣病 リスク分布</p>	<p>健康リスク分析</p>	-
<p>ケ</p> 	<p>CDK（慢性腎臓病）重症度別 受診状況</p>	<p>健康リスク分析</p>	-
<p>コ</p> 	<p>健診・問診分析サマリ（被保険者全体）</p>	<p>特定健診分析</p>	-
<p>サ</p> 	<p>健診・問診分析サマリ（被扶養者全体）</p>	<p>特定健診分析</p>	-
<p>シ</p> 	<p>健診分析（肥満）</p>	<p>特定健診分析</p>	-
<p>ス</p> 	<p>問診分析（運動）</p>	<p>特定健診分析</p>	-

セ



メンタル疾患対策 (気分障害・神経性障害)

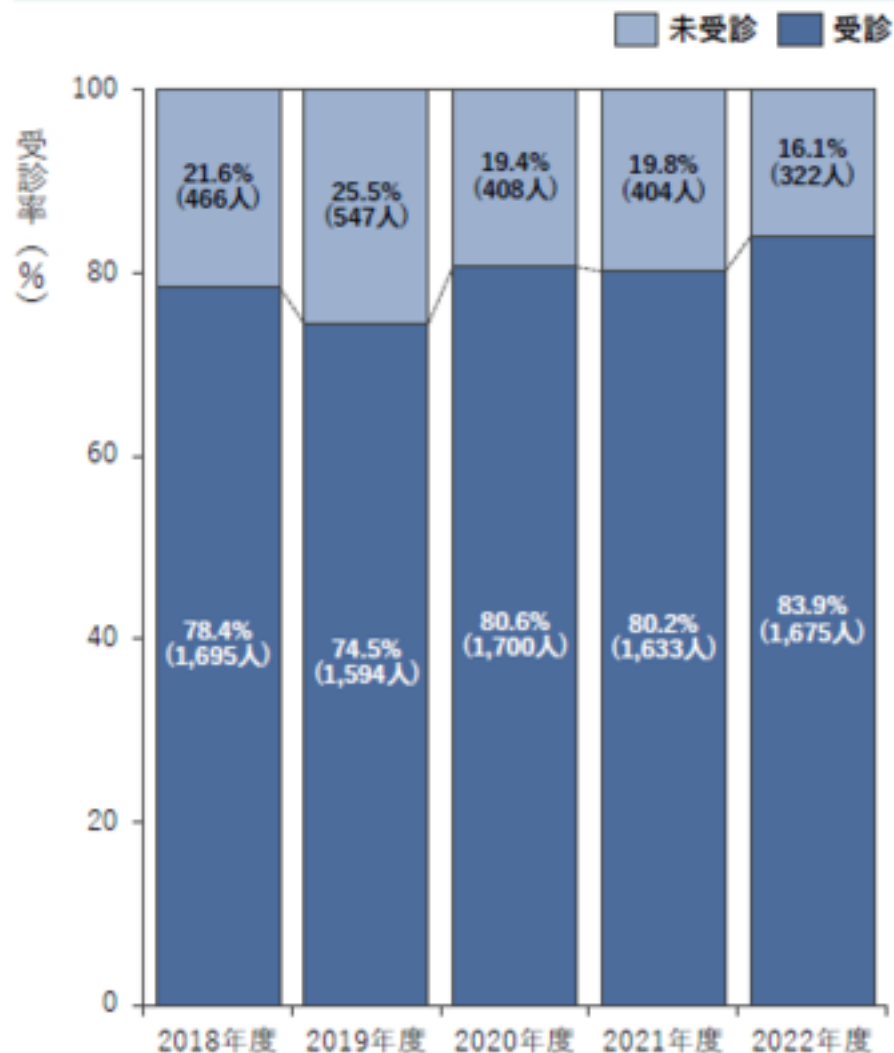
健康リスク分析

行動特性 〈年度別 健診受診率〉

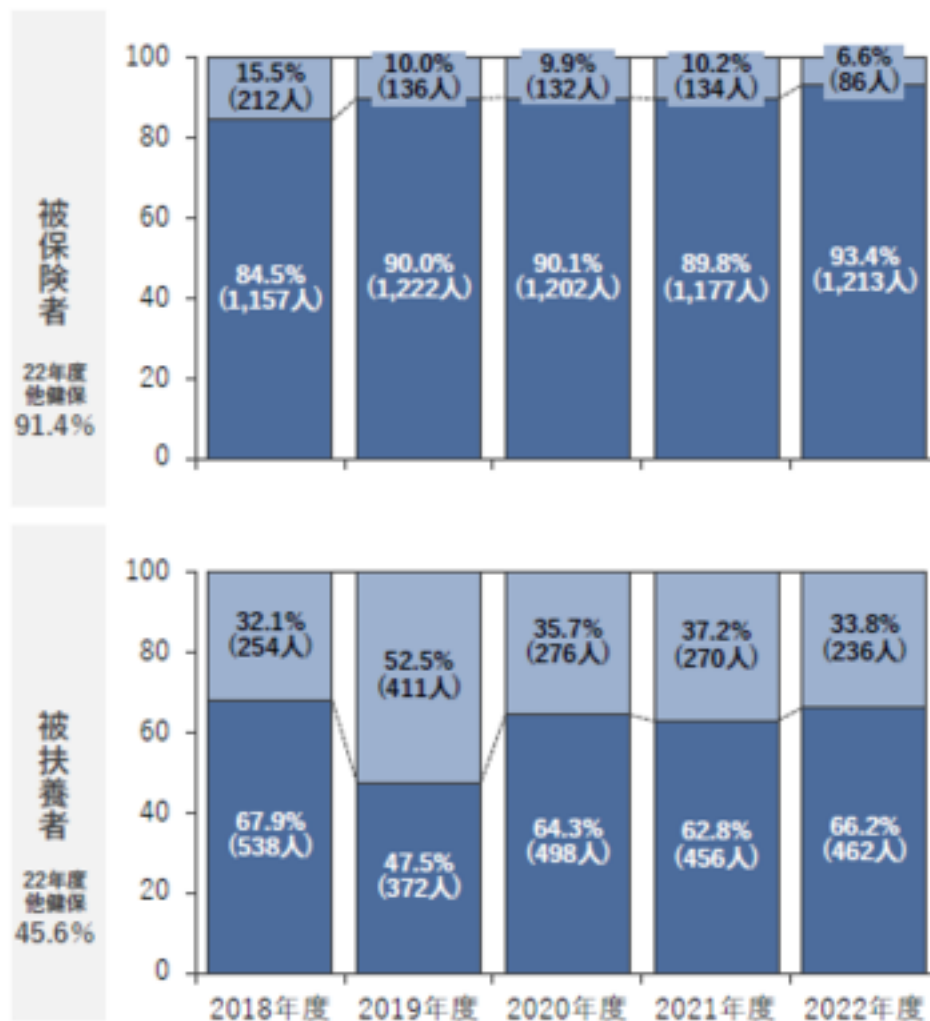
※対象：各年度継続在籍者
 ※年齢：各年度未40歳以上

新型コロナウイルス感染症の流行がはじまった19年度は健診受診率が落ち込んでいる
 他健保と比較すると被保険者、被扶養者ともに健診受診率が高い状況である

年度別 健診受診率（全体）



年度別 健診受診率（被保険者・被扶養者別）

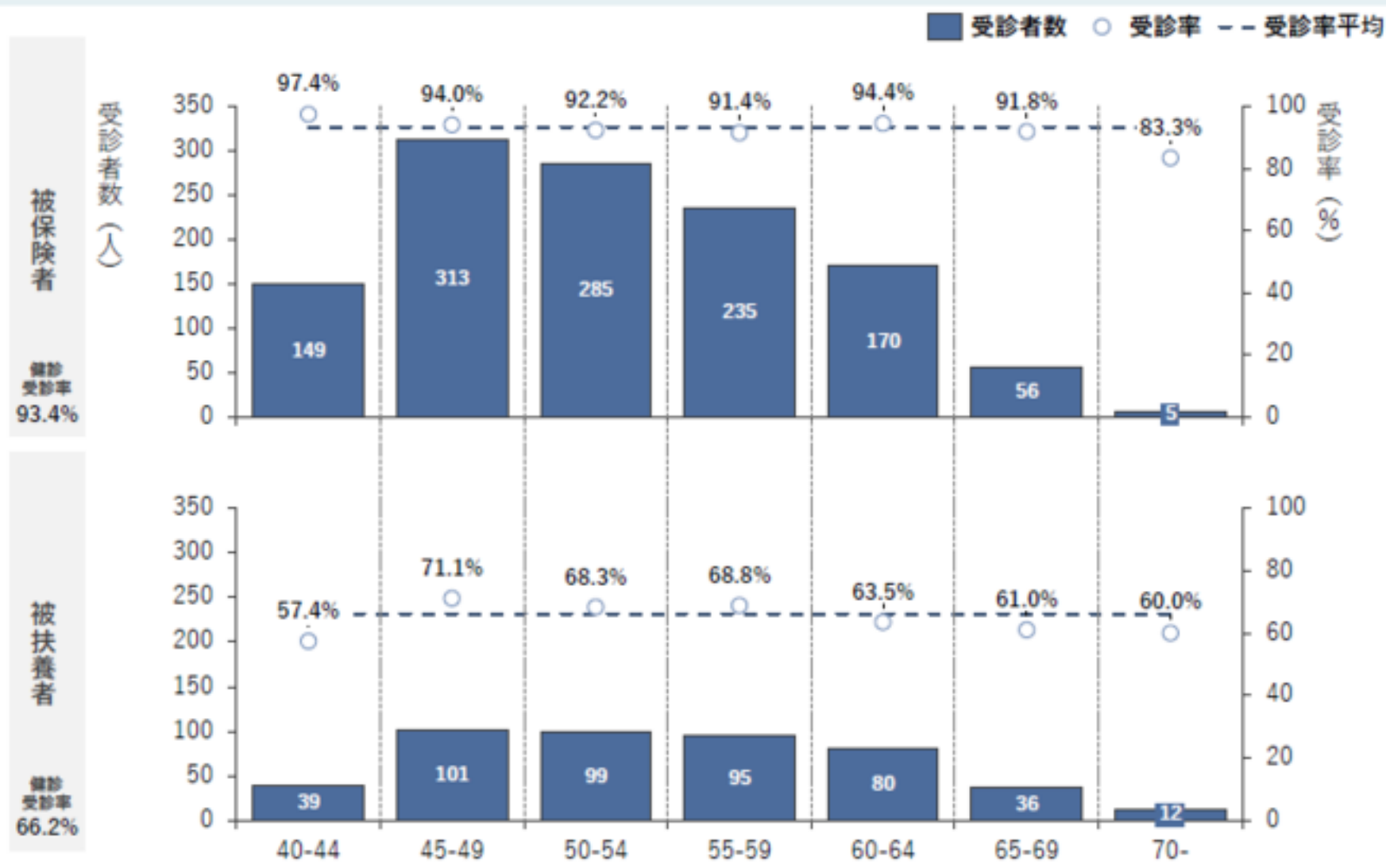


行動特性 〈年齢階層別 健診受診率〉

※対象：2022年度継続在籍者
※年齢：2022年度末40歳以上

年齢階層別にみると被扶養者の40代前半の健診受診率が低い

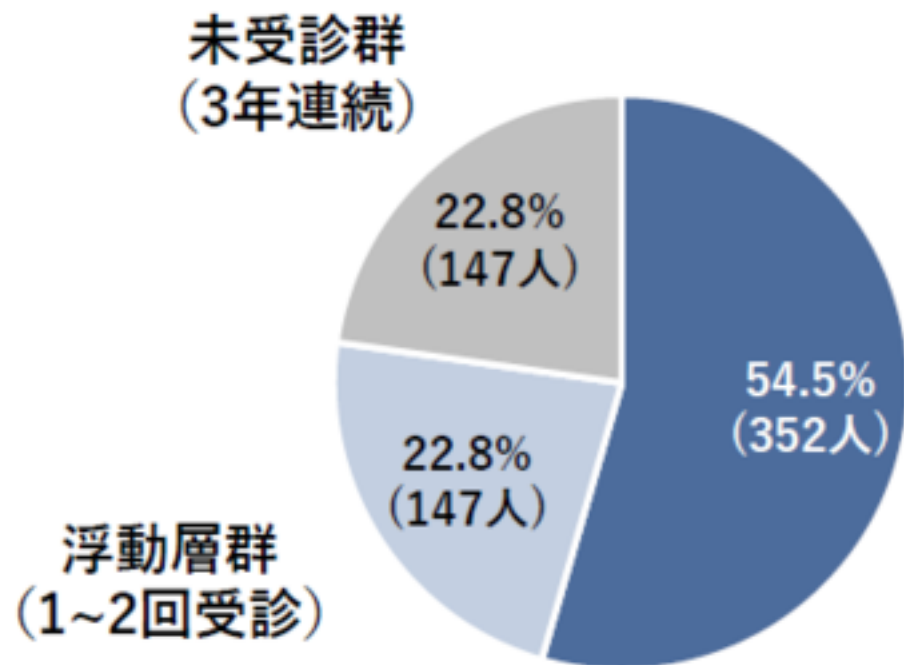
2022年度 年齢階層別健診受診率



特定健康診査〈被扶養者の3か年健診受診状況〉

※対象：2020～2022年度継続在籍被扶養者
※年齢：2020年度末40歳以上

被扶養者において3年連続健診未受診者が147人おり、リスク状況が未把握の状態が続いている
浮動層群に該当している人には、毎年の健診受診を促す必要がある



パターン	受診状況			該当者	
	2020	2021	2022	人数	割合
1	○	○	○	352	54.5%
2	○	○	×	37	5.7%
3	×	○	○	27	4.2%
4	○	×	○	33	5.1%
5	○	×	×	13	2.0%
6	×	○	×	18	2.8%
7	×	×	○	19	2.9%
8	×	×	×	147	22.8%

行動特性

〈特定保健指導対象者割合（被保険者・被扶養者別）〉

被扶養者では被保険者に比べて「情報提供（非肥満_検査値正常）」の割合が高く、健診未受診者のリスク把握が必要である

※対象：各年度継続在籍者 ※年齢：各年度末40歳以上

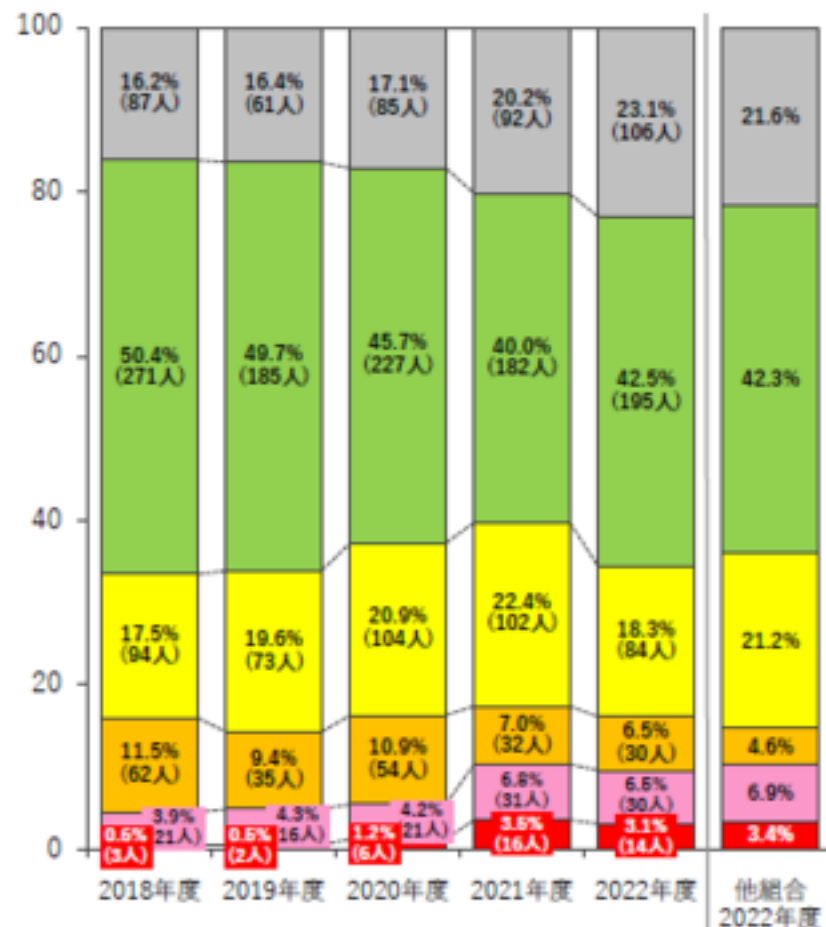
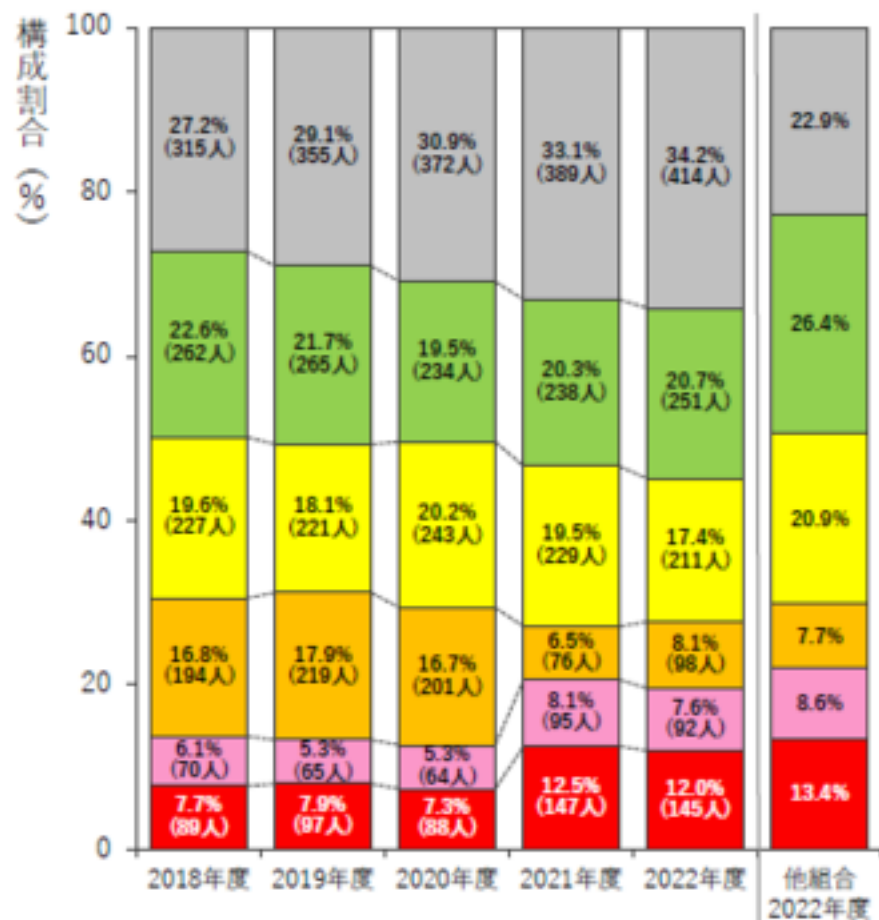
- 情報提供の内在リスクの判定基準
- 肥満：BMI25以上、または腰囲85cm（男性）・90cm（女性）以上
 - 検査値リスク有：下記のいずれか1つ以上該当
 - ①血糖：空腹時血糖100mg/dl以上（空腹時血糖を未測定の場合は、HbA1c 5.6%以上）
 - ②脂質：中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
 - ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

特定保健指導対象者割合（被保険者・被扶養者別）

被保険者

被扶養者

■ 服薬 ■ 情報提供（非肥満_検査値正常） ■ 情報提供（非肥満_検査値リスク有） ■ 情報提供（肥満_検査値正常） ■ 動機付け支援 ■ 積極的支援



行動特性

〈年齢階層別 特定保健指導対象者割合〉

被保険者ではどの年代でも他健保に比べ「服薬」の割合が高く、早期の医療機関受診により特保該当者割合が低く抑えられている

※対象：2022年度継続在籍者 ※年齢：2022年度末40歳以上

- 情報提供の内在リスクの判定基準
- 肥満：BMI25以上、または腰囲85cm（男性）・90cm（女性）以上
 - 検査値リスク有：下記のいずれか1つ以上該当
 - ①血糖：空腹時血糖100mg/dl以上（空腹時血糖を未測定の場合は、HbA1c 5.6%以上）
 - ②脂質：中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
 - ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

2022年度 年齢階層別 特定保健指導対象者割合

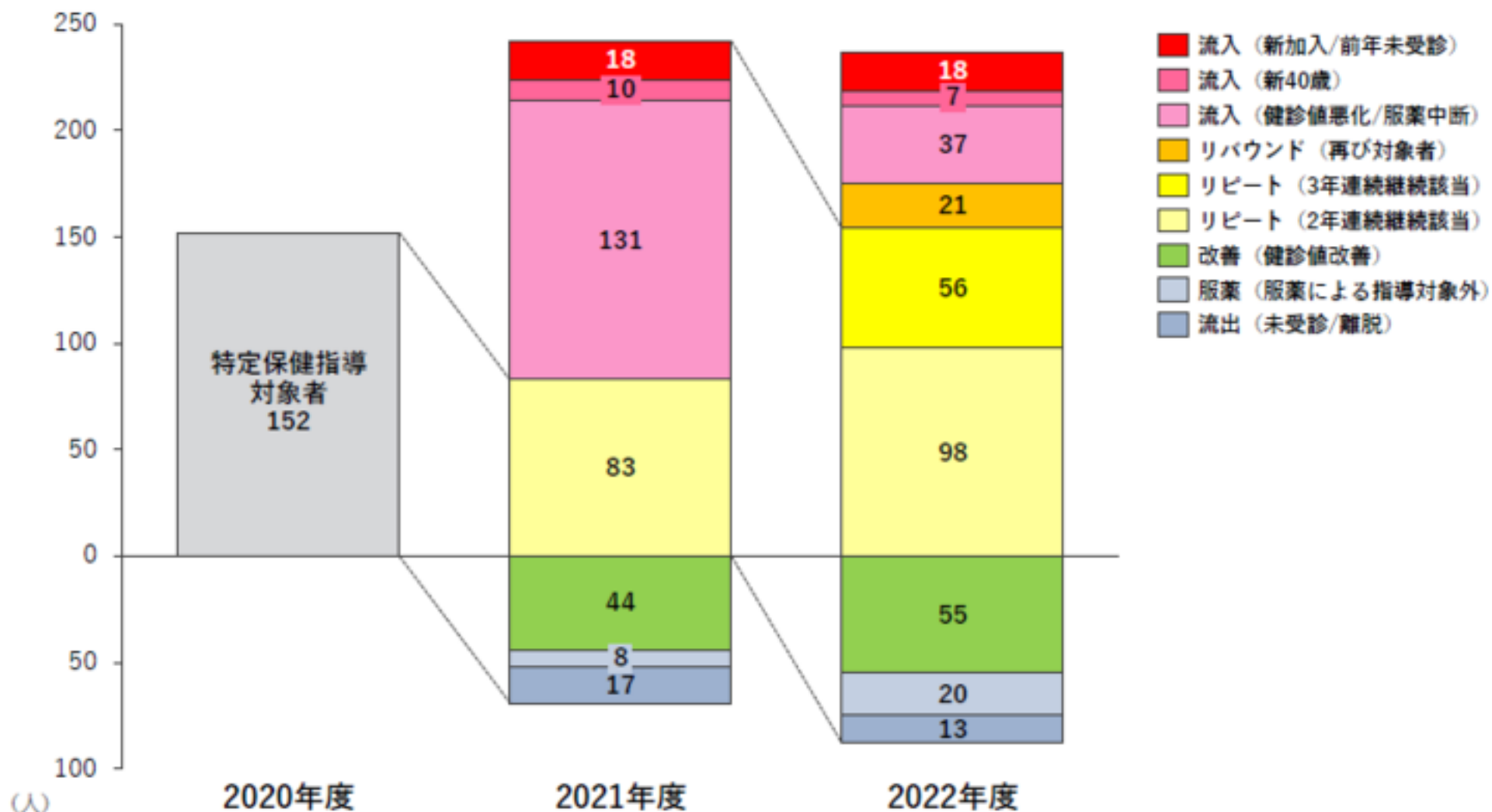
■ 服薬 ■ 情報提供（非肥満_検査値正常） ■ 情報提供（非肥満_検査値リスク有） ■ 情報提供（肥満_検査値正常） ■ 動機付け支援 ■ 積極的支援



生活習慣病対策 特定保健指導 〈流入出分析 被保険者〉

※対象：各年度継続在籍被保険者
※年齢：各年度末40歳以上

毎年流出者がいるものの、流入があることで特定保健指導該当者数は減少していない
「流入」群においては「悪化・新40歳・新加入」のカテゴリーがあり、
それぞれの特性に合わせた対策の検討が必要である

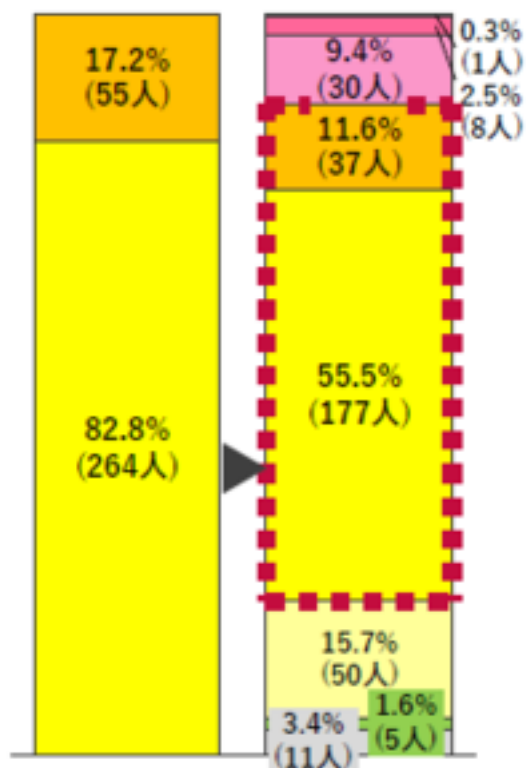


生活習慣病対策 重症化予防 〈治療放置の恐れがある群〉

※対象：各年度継続在籍被保険者
※年齢：各年度末40歳以上

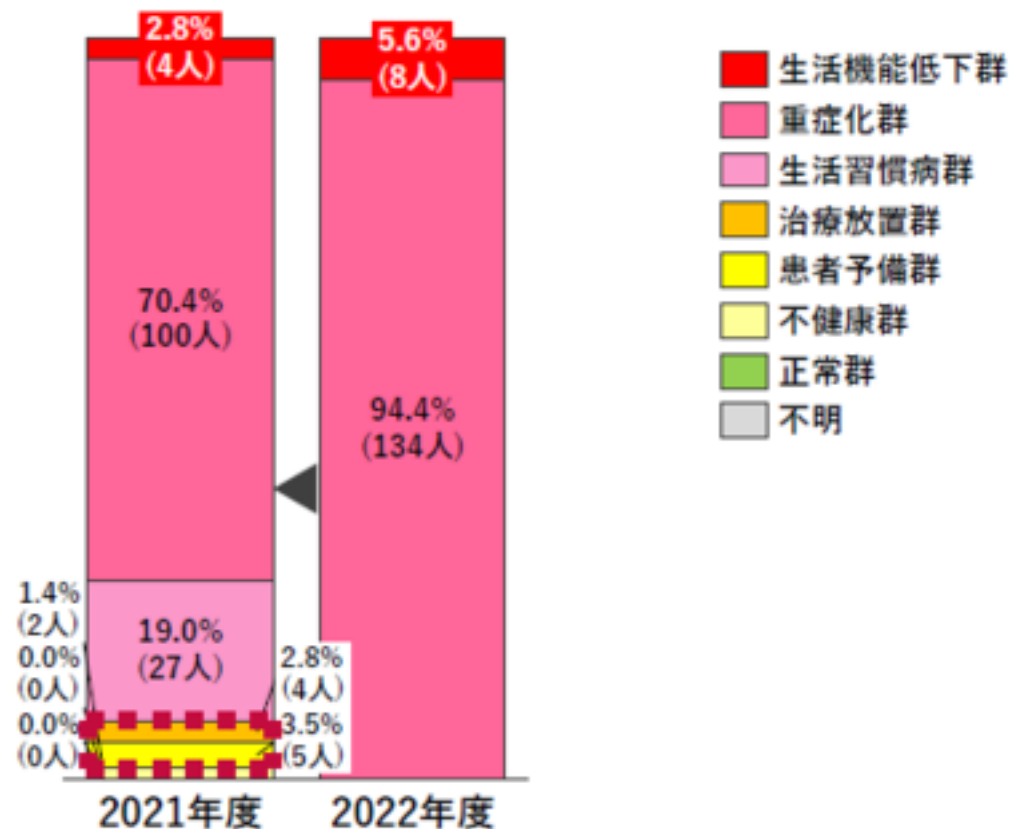
受診勧奨域にもかかわらず2年連続治療放置者が多く存在する
医療機関未受診による重症化が疑われる人が存在する

2021年度 受診勧奨対象である群
の2022年度の階層



2年連続受診勧奨対象である群
：214人 (67.1%)

2022年度 重症化群及び生活機能低下群
の2021年度の階層



医療機関未受診による重症化が疑われる群
：9人 (6.3%)

健診・レセプト突合割合 生活習慣病 リスク分布

※対象：各年度継続在籍者
 ※年齢：各年度末40歳以上
 ※医療費：該当者あたり医療費（円）＊歯科除く

「未把握」該当者の早期状態確認と、22年度においては75人の医療機関受診が推奨される

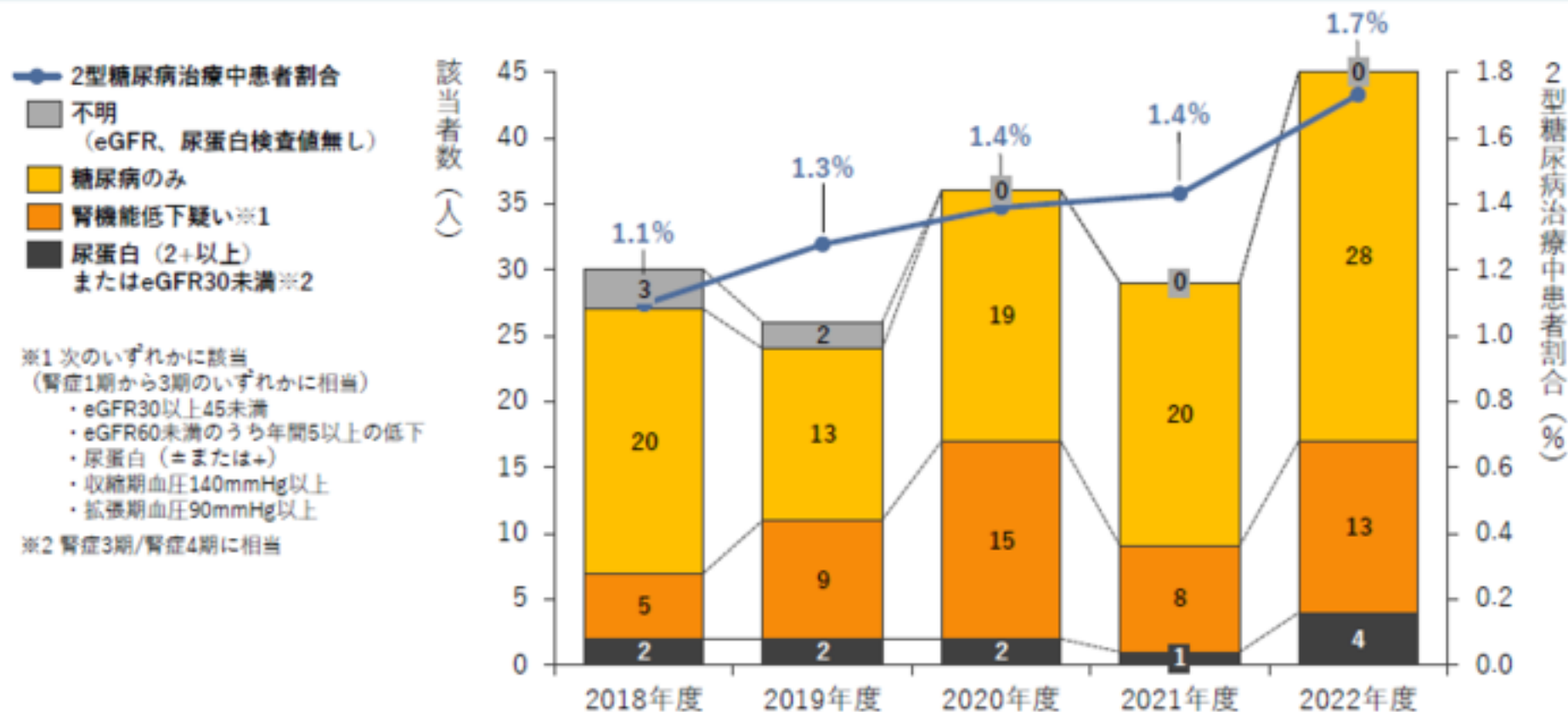


		生活習慣病では未通院(未治療)					生活習慣病通院(治療)歴あり		
		未把握 (健診未受診)	正常群	不健康群	患者 予備群	治療 放置群	生活 習慣病群	重症化群	生活機能 低下群
該当者数	2022年度	204	206	307	394	75	613	189	9
	2021年度	252	211	304	370	94	614	185	7
	2020年度	262	223	337	397	84	621	175	9
割合	2022年度	-	11.5%	17.1%	22.0%	4.2%	34.2%	10.5%	0.5%
	2021年度	-	11.8%	17.0%	20.7%	5.3%	34.4%	10.4%	0.4%
	2020年度	-	12.1%	18.3%	21.5%	4.6%	33.6%	9.5%	0.5%
医療費	2022年度	-	94,355	89,902	121,626	109,722	248,732	433,669	3,914,411

生活習慣病対策 重症化予防 〈糖尿病患者 腎症病期分類割合〉

※レセプト：医科入院外、調剤（12月～翌年3月）
 ※健診：各年度受診分（eGFR低下速度は前年度受診分も参照）
 ※除外対象：12月～翌年3月に人工透析が発生している者

2型糖尿病治療中患者割合およびアンコントロール者（HbA1c6.5%以上または、空腹時血糖126mg/dl以上）腎症病期分類



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
2型糖尿病治療中患者	50人	57人	61人	62人	75人
アンコントロール者	30人	26人	36人	29人	45人
アンコントロール者割合 ※3	60.0%	45.6%	59.0%	46.8%	60.0%

健診・問診分析サマリ 〈被保険者全体〉

※年度：2022年度
 ※対象：被保険者
 ※年齢：2022年度末40歳以上

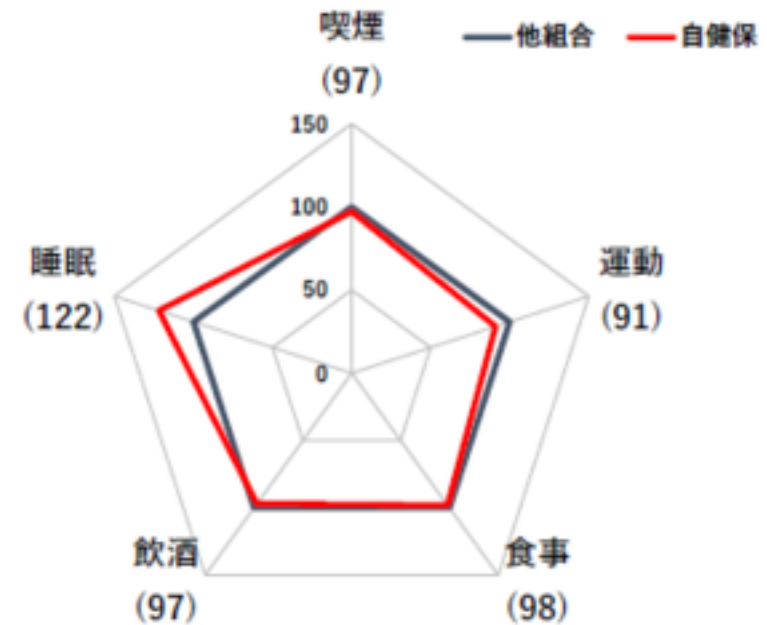
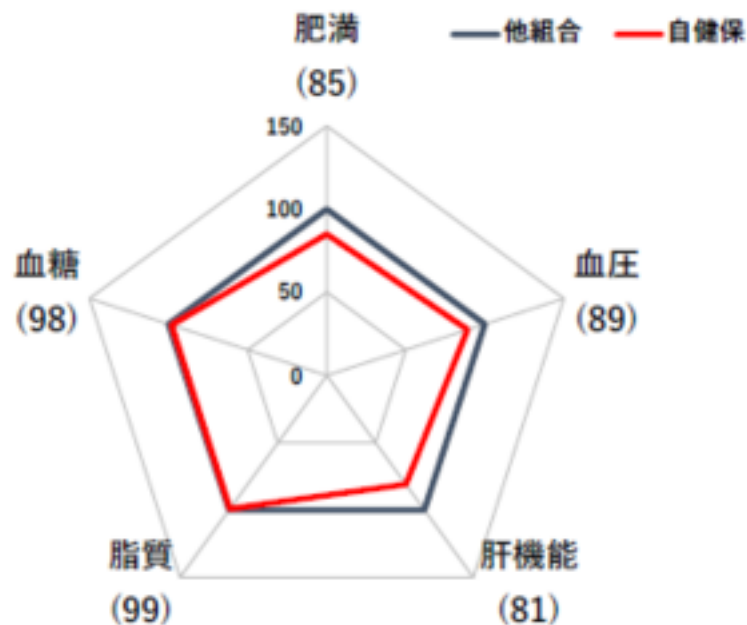
健康状況では肥満、血圧、肝機能、生活習慣では運動習慣のスコアが好ましくない状況であるが、50代、60代の加入者構成割合が高いため、年齢階層を区切り状況を確認する必要がある

健康状況

生活習慣

※グラフが外側に広がるほど良好

() 内はスコア



		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	85	89	81	99	98
	非リスク者数	587	701	693	944	781
	リスク者数	629	515	523	272	435
	リスク者割合	51.7%	42.4%	43.0%	22.4%	35.8%
他組合	リスク者割合	43.9%	37.7%	34.9%	22.2%	35.1%

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	97	91	98	97	122
	非リスク者数	855	359	499	1,044	917
	リスク者数	354	845	240	165	290
	非リスク者割合	70.7%	29.8%	67.5%	86.4%	76.0%
他組合	非リスク者割合	72.8%	32.8%	68.8%	89.2%	62.2%

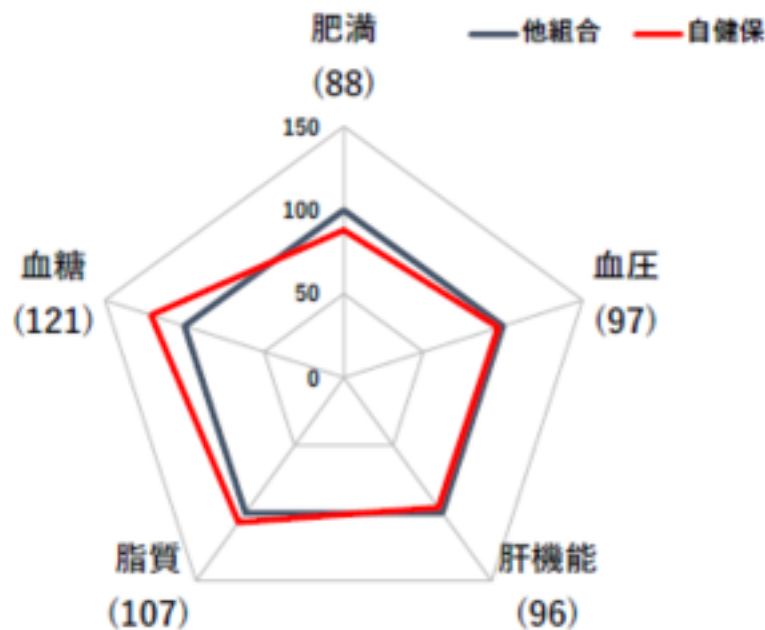
健診・問診分析サマリ 〈被扶養者全体〉

※年度：2022年度
 ※対象：被扶養者
 ※年齢：2022年度末40歳以上

被扶養者の健康状況では肥満、血圧、肝機能が他健保に比べ好ましくない状況である
 被扶養者の生活習慣では、運動習慣が他健保に比べ好ましくない状況である

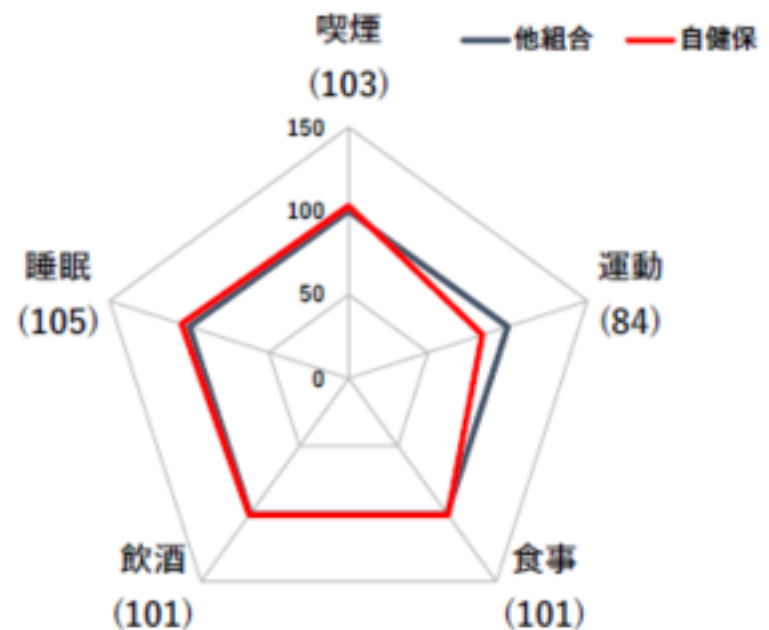
健康状況

※グラフが外側に広がるほど良好



生活習慣

() 内はスコア



		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	88	97	96	107	121
	非リスク者数	347	321	388	424	367
	リスク者数	125	150	83	47	99
	リスク者割合	26.5%	31.8%	17.6%	10.0%	21.2%
他組合	リスク者割合	23.3%	30.9%	16.9%	10.7%	25.7%

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	103	84	101	101	105
	非リスク者数	456	149	388	463	350
	リスク者数	16	322	74	9	122
	非リスク者割合	96.6%	31.6%	84.0%	98.1%	74.2%
他組合	非リスク者割合	93.6%	37.5%	83.3%	96.7%	70.5%

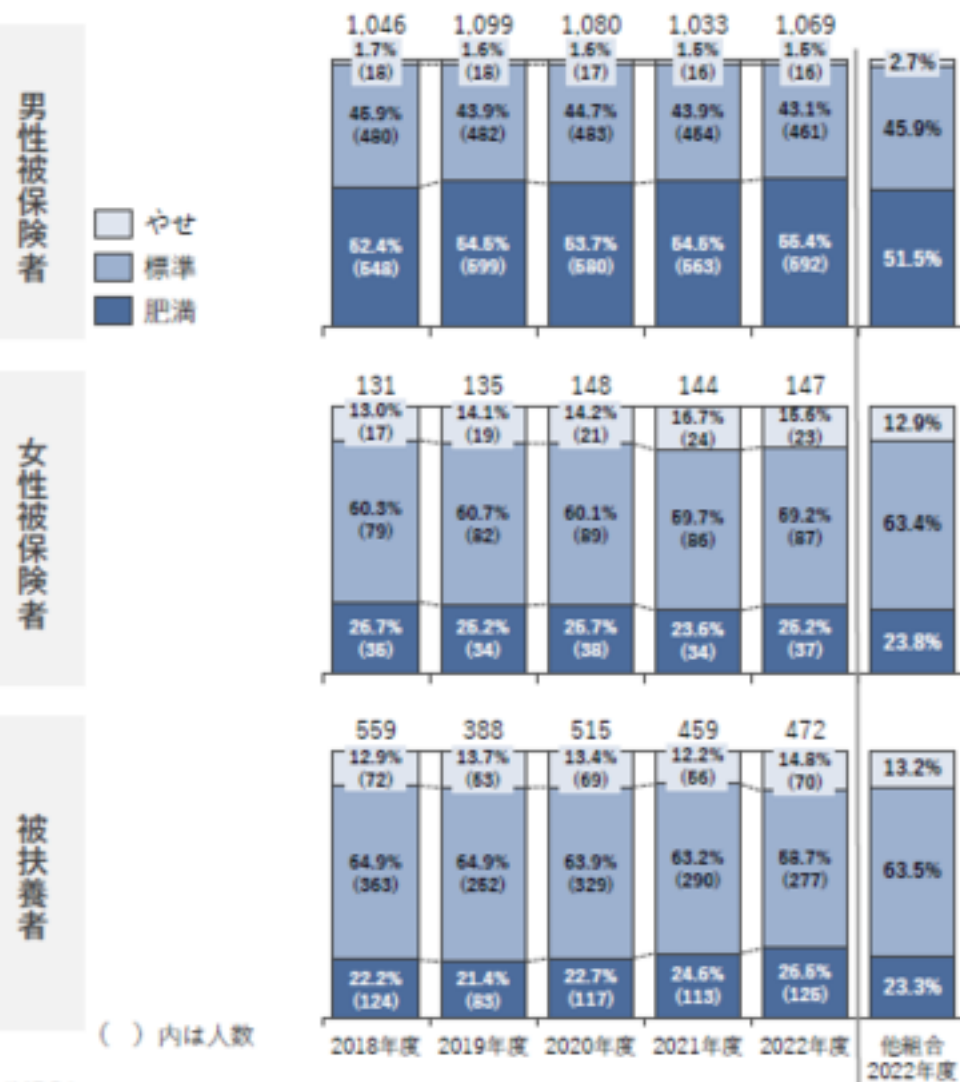
健診分析 〈肥満〉

※年齢：各年度末40歳以上

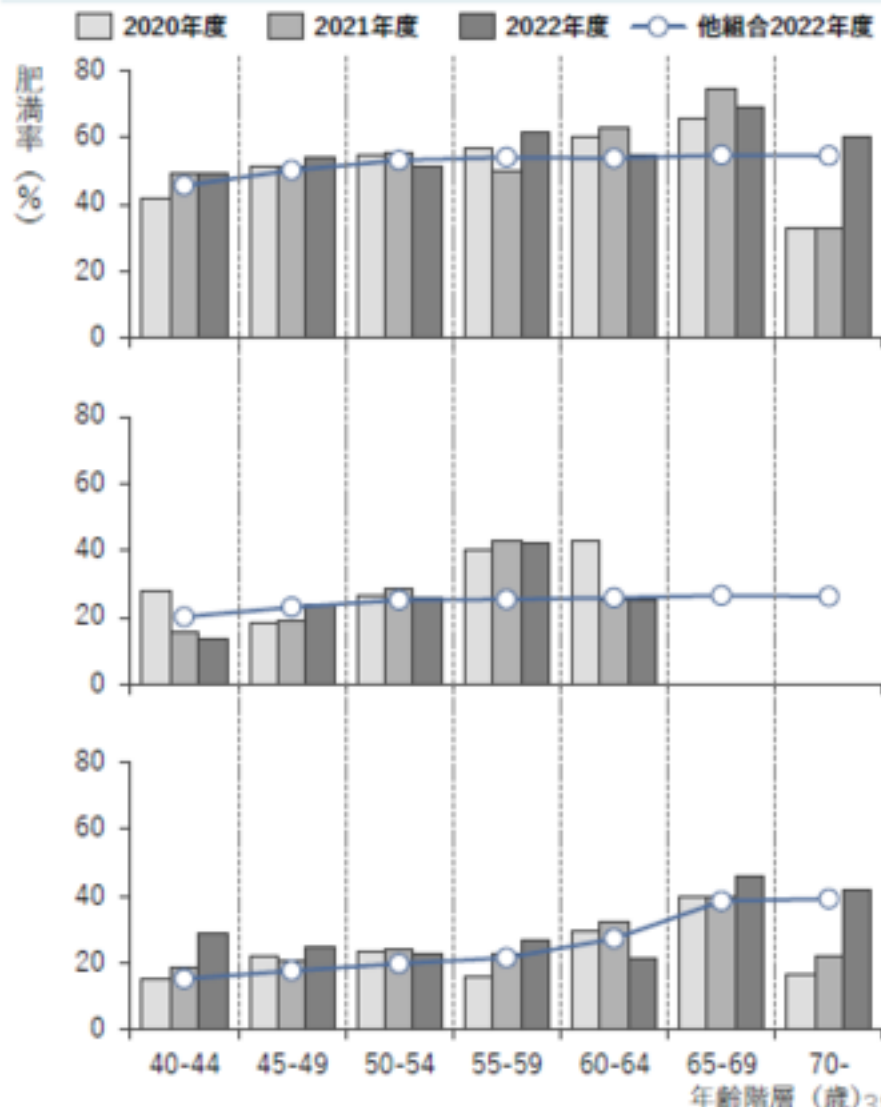
	BMI	腹囲
やせ	<18.5	男性：<85
標準	18.5≦ and <25	女性：<90
肥満	≧25	男性：≧85 女性：≧90

被保険者、被扶養者ともに、他健保よりも肥満率が高い
 男性被保険者では50代後半、60代後半の肥満率が他健保よりも高い

構成比率



年齢階層別 肥満率



問診分析 〈運動-1〉

<1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか>

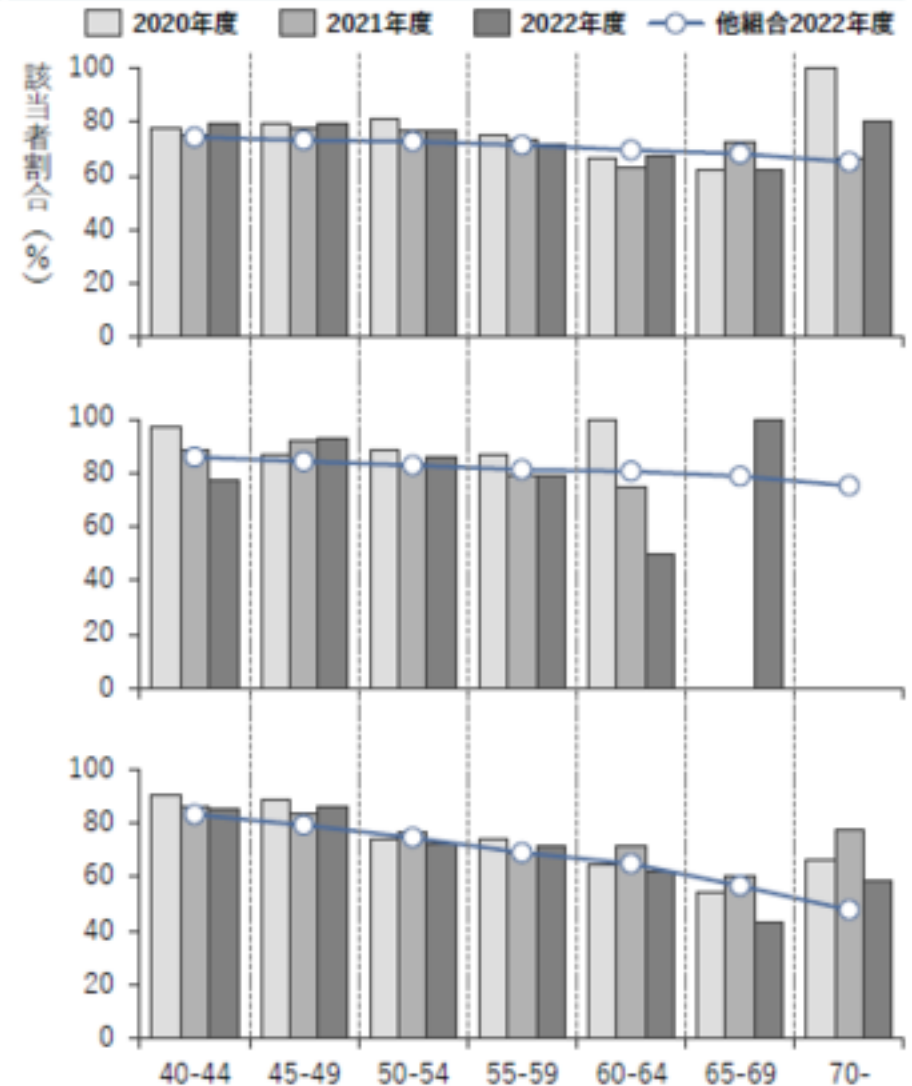
※年齢：各年度末40歳以上

被保険者、被扶養者ともに運動習慣は他健保に比べ好ましくない状況である

男性被保険者では40代および50代前半の運動習慣が他健保に比べ好ましくない状況である

構成比率

年齢階層別「いいえ」と回答した割合

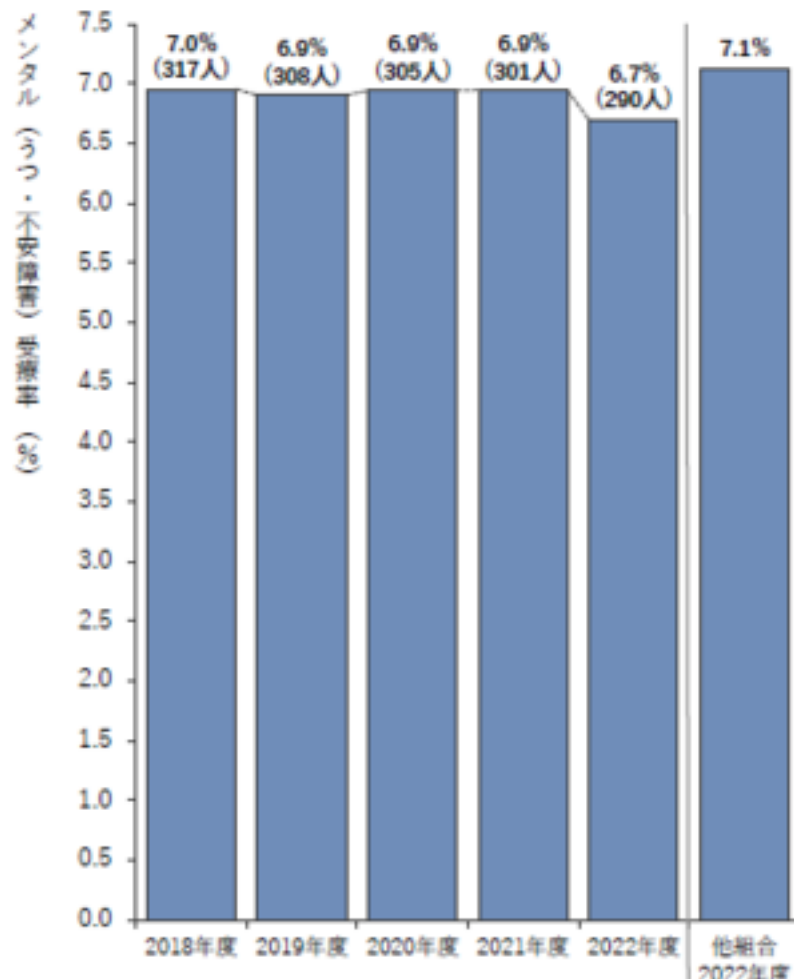


メンタル疾患対策 〈気分障害（うつ病など）・神経性障害（不安障害など）〉

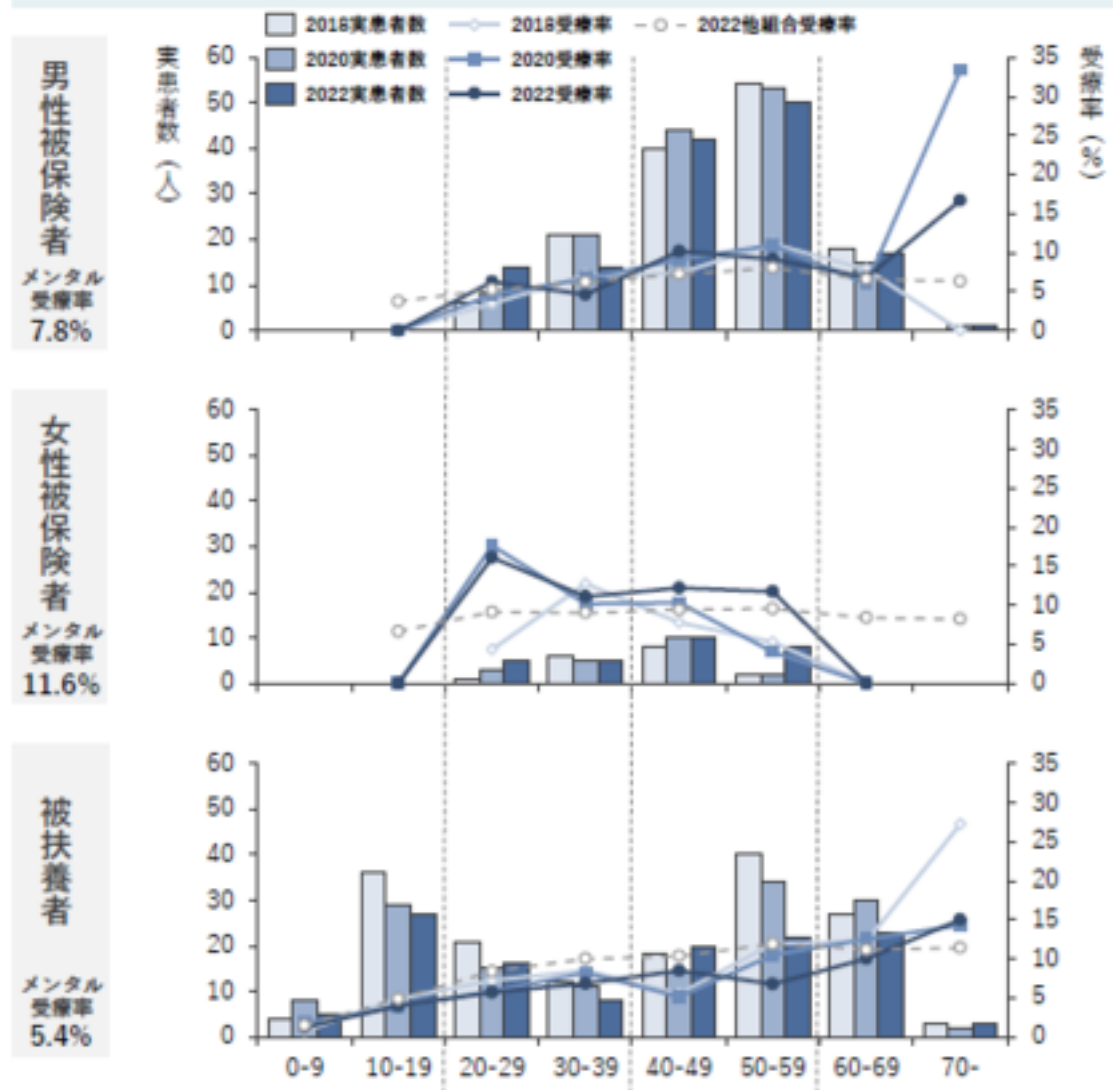
※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

22年度メンタル疾患の受療率が6.7%となっており他健保よりも低い
男性被保険者の40代、50代の受療率が他健保よりも高い

年度別 メンタル受療率



年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	<ul style="list-style-type: none"> 単一健保の目標値である健診受診率90%に対して、22年度の健診受診率は93.4%となっている 事業所の特性に合わせた健診受診を促す取り組みが必要である 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 健診受診機会の周知および機会拡大 	
2	イ, ウ	<ul style="list-style-type: none"> 年齢階層別にみると被扶養者の40代前半の健診受診率が低い 被扶養者において3年連続健診未受診者が147人おり、リスク状況が未把握の状態が続いている 年度により受診状況が変わる「浮動層群」に該当している人には、毎年の健康受診を促す必要がある 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 健診受診機会の周知および機会拡大 	✓
3	エ, オ, カ	<ul style="list-style-type: none"> 毎年流出者がいるものの、流入があることで特定保健指導該当者数は減少していない 「流入」群においては、「悪化・新40歳・新加入」の категорияがあり、それぞれの特徴に合わせた対策の検討が必要である 被扶養者においても、新加入、前年未受診者や健診値悪化による流入が多い 特定保健指導対象者の中には、ハイリスクのため治療を優先すべき者が存在し、個別の状況に沿ったアプローチが必要 被保険者全体の肥満者割合は51.7%と他健保の43.7%よりも高い 被保険者、被扶養者ともに他健保より肥満率が高く、男性被保険者では50代後半、60代後半の肥満率が他健保よりも高い 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 会社と協同で特定保健指導の重要性・必要性の認知度を高める 特定保健指導参加機会の提供・周知 若年層に対し、将来的なリスクを低減させる取り組みを行う 	✓
4	キ, ク	<ul style="list-style-type: none"> 受診勧奨域にもかかわらず2年連続治療放置者が多く存在する 医療機関未受診による重症化が疑われる者が存在する 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病ハイリスクかつ未通院者に対して、早期に治療を受けるように受診を促し、疾病の重症化を防ぐ 	✓
5	ケ	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析導入により一人の医療費が最も高額となる腎不全の患者が存在し、重症化する前の段階で留めることが求められる 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 腎症ハイリスクかつ未通院者に対して、早期に治療を受けるよう受診を促し、疾病の重症化を防ぐ 	✓
6	コ, サ, シ, ス	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者の健康状況では肥満、血圧、肝機能、生活習慣では運動習慣のスコアが好ましくない状況である 被扶養者では、肥満、血圧、肝機能が他健保に比べて好ましくない状況であり、それらを改善するために運動習慣の改善が望まれる 被保険者、被扶養者ともに他健保よりも肥満率が高く、男性被保険者では50代後半、60代後半の肥満率が他健保よりも高い 被保険者、被扶養者ともに運動習慣は他健保に比べて好ましくない状況であり、男性被保険者では40代及び50代前半が他健保に比べて好ましくない状況である 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した健康イベント等を展開し、運動習慣や改善意識を高める 	✓
7	セ	<ul style="list-style-type: none"> 22年度メンタル疾患の受療率が6.7%となっている 男性被保険者の40代、50代の受療率が他健保より高い 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 実態及び課題を事業主と共有し、解決策の検討材料とする 	

8	未選択	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導対象者割合が高い事業所の特徴・課題を捉えて対策を講じる必要がある ・喫煙率については事業所別に大きな差が生じている ・事業所により健康課題が異なるため、個別の対応が必要である。 ・労働生産性にも繋がるため、特に放置者割合が高い事業所においてはコロナヘルスにて早期受診を徹底する必要がある 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所別に健康レポートを作成し、全体の意識を高める 	
9	未選択	該当なし（これまでの経緯で実施する事業）	➔	-	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の88%が男性で、40代後半から50代が多い。 ・事業主の拠点が少ない（4ヶ所）。 ・当健保には医療専門職が不在。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の予備軍、ハイリスク者が多いため、事業主との連携が必要。 ・拠点の特性に応じた保険事業の実施を検討する。 ・母体事業主の保健師等と連携する。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診において、被扶養者の40代前半の健診受診率が低い。 ・特定保健指導対象者のリピーターが多い。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・未受診者に対して個別に受診を促す。 ・多様な実施方法・実施機会を提供する。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

メタバ該当者を減らす

事業全体の目標

該当者に対し、多様な実施機会を提供し、実施率の向上と効果的な特定保健指導を行う

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	広報誌による意識
保健指導宣伝	ホームページ・イントラ
保健指導宣伝	健康優良者表彰
保健指導宣伝	健康管理アプリの導入

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診<被保険者>
特定健康診査事業	特定健診<被扶養者>
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	後発医薬品切替促進
保健指導宣伝	事業所別健康レポート（コラボヘルス）
疾病予防	若年層対策
疾病予防	生活習慣病重症化予防（治療放置者への通院勧奨）
疾病予防	慢性腎臓病重症化予防（治療放置者への通院勧奨）
疾病予防	糖尿病性腎症重症化予防
疾病予防	喫煙者対策
疾病予防	歯科対策
疾病予防	がん対策
疾病予防	適正服薬促進、適正服薬の取組
疾病予防	インフルエンザ予防接種費用補助
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	主婦健診
疾病予防	脳ドック
体育奨励	ICTによる情報提供・意識行動変容に向けたイベント展開

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

職場環境の整備 加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	広報誌による意識	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス			・春・秋の年間2回の発行、配付は事業主経由	・春・秋の年間2回の発行、配付は事業主経由	・春・秋の年間2回の発行、配付は事業主経由	・春・秋の年間2回の発行、配付は事業主経由	・春・秋の年間2回の発行、配付は事業主経由	・春・秋の年間2回の発行、配付は事業主経由	・健康誌「のびのびにここにこ」による健康意識の向上への啓蒙活動 ・健康づくり等に係る情報提供による意識醸成	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	配付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												広報誌であることから、誌面に係る評価を得ることはできても、健康維持、向上に係る意識醸成等に係る定量的な評価が難しいため。(アウトカムは設定されていません)							
	2	既存	ホームページ・イントラ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ			・ホームページ制作受託会社による制作	・ホームページでの健康保険諸制度及び保険事業に係る情報提供	・ホームページでの健康保険諸制度及び保険事業に係る情報提供	・ホームページでの健康保険諸制度及び保険事業に係る情報提供	・ホームページでの健康保険諸制度及び保険事業に係る情報提供	・ホームページでの健康保険諸制度及び保険事業に係る情報提供	・ホームページでの健康保険諸制度及び保険事業に係る情報提供	・健保・保健事業に係る情報発信 ・保健事業の紹介、各種情報の発信、意見等の聴取	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	情報の発信(年) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5回 令和7年度：5回 令和8年度：5回 令和9年度：5回 令和10年度：5回 令和11年度：5回)												健康維持、向上に係る意見醸成等に係る定量的な評価が難しいため(アウトカムは設定されていません)							
	2	既存	健康優良者表彰	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア			年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	・健康意識の維持と向上、健康状態への賞詞	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
対象者の増加(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：80人 令和7年度：81人 令和8年度：82人 令和9年度：83人 令和10年度：84人 令和11年度：85人)												対象者の増加割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5% 令和7年度：6% 令和8年度：7% 令和9年度：8% 令和10年度：9% 令和11年度：10%)								
2	既存	健康管理アプリの導入	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1	エ			年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	年間を通し、保険給付の無かった者(被扶養者を含む)に対し、記念品を贈呈し、表彰する。	・健康意識の向上 ・健康管理アプリによる健康状態に合ったタイムリーな情報発信	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
アプリ登録者数(【実績値】1,005人 【目標値】令和6年度：1,050人 令和7年度：1,100人 令和8年度：1,150人 令和9年度：1,200人 令和10年度：1,250人 令和11年度：1,300人)												アプリ登録者割合(【実績値】37% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：45% 令和8年度：50% 令和9年度：55% 令和10年度：60% 令和11年度：65%)								

個別の事業																					
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診<被保険者>	全て	男女	40～74	被保険者	3	ケ,サ		○事業主と連携し実施する	ア,カ	○事業主との協働	事業主と協力し、受診環境の整備および外部出向被保険者のデータ収集に努める	事業主と協力し、受診環境の整備および外部出向被保険者のデータ収集に努める	事業主と協力し、受診環境の整備および外部出向被保険者のデータ収集に努める	事業主と協力し、受診環境の整備および外部出向被保険者のデータ収集に努める	事業主と協力し、受診環境の整備および外部出向被保険者のデータ収集に努める	事業主と協力し、受診環境の整備および外部出向被保険者のデータ収集に努める	健康状態未把握者を減少させることでリスク者の把握状況を強め、適切な改善に繋げるための基盤を構築する	・単一健保の目標値である健診受診率90%に対して、22年度の健診受診率は93.4%となっている ・事業所の特性に合わせた健診受診を促す取り組みが必要である
	事業主からのデータ提供(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：95% 令和7年度：95% 令和8年度：95% 令和9年度：95% 令和10年度：95% 令和11年度：95%)												健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：94% 令和7年度：95% 令和8年度：95% 令和9年度：95% 令和10年度：95% 令和11年度：95%)								
3	既存(法定)	特定健診<被扶養者>	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ケ		カ	○健診未受診者のパターン分析を基に対象者を抽出し健診勧奨通知を実施する。			未受診者を抽出し、該当者に通知を行う。	未受診者を抽出し、該当者に通知を行う。	未受診者を抽出し、該当者に通知を行う。	未受診者を抽出し、該当者に通知を行う。	未受診者を抽出し、該当者に通知を行う。	未受診者を抽出し、該当者に通知を行う。	健康状態未把握者を減少させることで、リスク者の把握状況を強め、適切な改善に繋げるための基盤を構築する。	・年齢層別にみると被扶養者の40代前半の健診受診率が低い ・被扶養者において3年連続健診未受診者が147人おり、リスク状況が未把握の状態が続いている ・年度により受診状況が変わる「浮動層群」に該当している人には、毎年の健康受診を促す必要がある
未受診者への受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：235人 令和7年度：230人 令和8年度：225人 令和9年度：220人 令和10年度：215人 令和11年度：210人)・前年度、未受診だった方に、案内と一緒に受けてくださいという文書を同封												受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：66.5% 令和7年度：67% 令和8年度：67.5% 令和9年度：68% 令和10年度：68.5% 令和11年度：69%)									

特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ク,ケ,サ			事業主・医療機関・サービス提供者と連携して進めていく								保健指導実施率の向上及び対象者割合の減少	・毎年流出者があるものの、流入があることで特定保健指導該当者数は減少していない ・「流入」群においては、「悪化・新40歳・新加入」のカテゴリーがあり、それぞれの特徴に合わせた対策の検討が必要である ・被扶養者においても、新加入、前年未受診者や健診値悪化による流入が多い ・特定保健指導対象者の中には、ハイリスクのため治療を優先すべき者が存在し、個別の状況に沿ったアプローチが必要 ・被保険者全体の肥満者割合は51.7%と他健保の43.7%よりも高い ・被保険者、被扶養者ともに他健保より肥満率が高く、男性被保険者では50代後半、60代後半の肥満率が他健保よりも高い

特定保健指導受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：70% 令和7年度：71% 令和8年度：72% 令和9年度：73% 令和10年度：74% 令和11年度：75%)										特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：21% 令和7年度：20% 令和8年度：19% 令和9年度：18% 令和10年度：17% 令和11年度：16%)										
保健指導宣伝	7	既存	後発医薬品切替促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ、ク	紙通知もしくはICTを通じた後発医薬品への切替促進案内を送付する	紙通知もしくはICTを通じた後発医薬品への切替促進案内を送付する	紙通知もしくはICTを通じた後発医薬品への切替促進案内を送付する	紙通知もしくはICTを通じた後発医薬品への切替促進案内を送付する	紙通知もしくはICTを通じた後発医薬品への切替促進案内を送付する	紙通知もしくはICTを通じた後発医薬品への切替促進案内を送付する	後発医薬品への切替を推奨し、医療費支出を抑制する	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)			
	対象者への通知実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)										後発医薬品数量比率(組合全体)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：86% 令和7年度：86% 令和8年度：86% 令和9年度：86% 令和10年度：86% 令和11年度：86%)									
	1	新規	事業所別健康レポート(コラベヘルス)	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	事業所別の健康状態を図るレポートを作成し、共有することで全体の健康意識の底上げを図る	レポートを作成し、事業所と課題を共有。課題の気づきの創出および解決に向けたフォローを行う	レポートを作成し、事業所と課題を共有。課題の気づきの創出および解決に向けたフォローを行う	レポートを作成し、事業所と課題を共有。課題の気づきの創出および解決に向けたフォローを行う	レポートを作成し、事業所と課題を共有。課題の気づきの創出および解決に向けたフォローを行う	レポートを作成し、事業所と課題を共有。課題の気づきの創出および解決に向けたフォローを行う	レポートを作成し、事業所と課題を共有。課題の気づきの創出および解決に向けたフォローを行う	事業所ごとの個別の健康課題を把握して解決に向けての対応を図る	・特定保健指導対象者割合が高い事業所の特徴・課題を捉えて対策を講じる必要がある ・喫煙率については事業所別に大きな差が生じている ・事業所により健康課題が異なるため、個別の対応が必要である ・労働生産性にも繋がるため、特に放置者割合が高い事業所においてはコラベヘルスにて早期受診を徹底する必要がある		
レポートを作成回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)										これまでの事業で実施する事業のため(アウトカムは設定されていません)										
疾病予防	5	新規	若年層対策	全て	男女	18～39	被保険者	1	ク	特定保健指導対象者予測モデルにて、抽出されたハイリスク群に対し、事業主に情報提供し、協働で生活習慣病対策を行う	特定保健指導対象者予測モデルにて、抽出されたハイリスク群に対し、事業主に情報提供し、協働で生活習慣病対策を行う	特定保健指導対象者予測モデルにて、抽出されたハイリスク群に対し、事業主に情報提供し、協働で生活習慣病対策を行う	特定保健指導対象者予測モデルにて、抽出されたハイリスク群に対し、事業主に情報提供し、協働で生活習慣病対策を行う	特定保健指導対象者予測モデルにて、抽出されたハイリスク群に対し、事業主に情報提供し、協働で生活習慣病対策を行う	特定保健指導対象者予測モデルにて、抽出されたハイリスク群に対し、事業主に情報提供し、協働で生活習慣病対策を行う	特定保健指導対象者割合の減少	・毎年流出者がいるものの、流入があることで特定保健指導該当者数は減少していない ・「流入」群においては、「悪化・新40歳・新加入」のカテゴリがあり、それぞれの特徴に合わせた対策の検討が必要である ・被扶養者においても、新加入、前年未受診者や健診値悪化による流入が多い ・特定保健指導対象者の中には、ハイリスクのため治療を優先すべき者が存在し、個別の状況に沿ったアプローチが必要 ・被保険者全体の肥満者割合は51.7%と他健保の43.7%よりも高い ・被保険者、被扶養者ともに他健保より肥満率が高く、男性被保険者では50代後半、60代後半の肥満率が他健保よりも高い			
	情報提供実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)										若年層の保健指導域該当者の割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：19% 令和7年度：18% 令和8年度：17% 令和9年度：16% 令和10年度：15% 令和11年度：14%)									
	4	新規	生活習慣病重症化予防(治療放置者への通院勧奨)	全て	男女	18～74	被保険者	3	イ	健診データ及びレセプトよりハイリスクかつ未治療者を抽出し、事業主と連携	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	早期受診を行うことで重症化を防止、将来的な重大イベント発生を抑制する	・受診勧奨域にもかかわらず2年連続治療放置者が多く存在する ・医療機関未受診による重症化が疑われる者が存在する		
事業主へのデータ提供率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)										治療放置者の人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：70人 令和7年度：69人 令和8年度：68人 令和9年度：67人 令和10年度：66人 令和11年度：65人)										
4	新規	慢性腎臓病重症化予防(治療放置者への通院勧奨)	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ	事業主と連携して進めていく	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す(対策検討)	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	ハイリスクかつ未治療者に対して、早期に医療を受けてもらうよう受診を促す	早期受診を行うことで重症化を防止、将来的な重大イベント発生を抑制する	・人工透析導入により一人の医療費が最も高額となる腎不全の患者が存在し、重症化する前の段階で留めることが求められる			
事業主へのデータ提供率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)										受療率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10.7% 令和7年度：10% 令和8年度：9.5% 令和9年度：9% 令和10年度：8.8% 令和11年度：8.5%)										
4	新規	糖尿病性腎症重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ	事業主と連携して進めていく	データ分析に基づく重症化予防対策を検討	データ分析に基づく重症化予防対策を実施	データ分析に基づく重症化予防対策を実施	データ分析に基づく重症化予防対策を実施	データ分析に基づく重症化予防対策を実施	データ分析に基づく重症化予防対策を実施	数値改善に向けた指導を行うことでアンコントロール者を減少させ、将来的な人工透析移行者の発生を抑制する	・人工透析導入により一人の医療費が最も高額となる腎不全の患者が存在し、重症化する前の段階で留めることが求められる			
事業主へ情報提供率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)										重症化割合の維持・低下(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：11% 令和7年度：10.5% 令和8年度：10% 令和9年度：9.5% 令和10年度：9% 令和11年度：9%)										

5	既存	喫煙者対策	全て	男女	20～74	被保険者	1	工,ケ	-	イ	-	サービス提供者のシステムを使って抽出し、情報提供	サービス提供者のシステムを使って抽出し、情報提供	サービス提供者のシステムを使って抽出し、情報提供	サービス提供者のシステムを使って抽出し、情報提供	サービス提供者のシステムを使って抽出し、情報提供	サービス提供者のシステムを使って抽出し、情報提供	コラボヘルスによる禁煙事業の実施	・特定保健指導対象割合が高い事業所の特徴・課題を捉えて対策を講じる必要がある ・喫煙率については事業所別に大きな差が生じている ・事業所により健康課題が異なるため、個別の対応が必要である ・労働生産性にも繋がるため、特に放置者割合が高い事業所においてはコラボヘルスにて早期受診を徹底する必要がある	
禁煙外来受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2人 令和7年度：2人 令和8年度：2人 令和9年度：2人 令和10年度：2人 令和11年度：2人)-												喫煙率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：29% 令和8年度：28% 令和9年度：27% 令和10年度：26% 令和11年度：25%)-								
4	既存	歯科対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	工	-	ウ	-	歯科に係る健康意識の醸成	歯科に係る健康意識の醸成	歯科に係る健康意識の醸成	歯科に係る健康意識の醸成	歯科に係る健康意識の醸成	歯科に係る健康意識の醸成	定期的な歯科受診を促すことで将来的な重症症状の発症を予防する	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)	
広報誌等で受診を促す(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												1年間の未受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：57% 令和7年度：56% 令和8年度：55% 令和9年度：54% 令和10年度：53% 令和11年度：52%)-								
3	既存	がん対策	全て	男女	18～74	被保険者	1	ウ	-	ア,イ	-	○生活習慣病健診時に希望者に対し、胃部レントゲン検査、喀痰検査、検便検査を実施 ○生活習慣病健診時に希望者に対し、有料で腫瘍マーカー検査機会の提供 ただし、40歳、50歳、60歳については全額補助	・生活習慣病健診時に希望者に対し、胃部レントゲン検査、法定健診(事業主実施) 喀痰検査、検便検査を実施 ・生活習慣病健診時に希望者に対し、有料で腫瘍マーカー検査機会の提供 ただし、40歳、50歳、60歳については全額補助	・生活習慣病健診時に希望者に対し、胃部レントゲン検査、法定健診(事業主実施) 喀痰検査、検便検査を実施 ・生活習慣病健診時に希望者に対し、有料で腫瘍マーカー検査機会の提供 ただし、40歳、50歳、60歳については全額補助	・生活習慣病健診時に希望者に対し、胃部レントゲン検査、法定健診(事業主実施) 喀痰検査、検便検査を実施 ・生活習慣病健診時に希望者に対し、有料で腫瘍マーカー検査機会の提供 ただし、40歳、50歳、60歳については全額補助	・生活習慣病健診時に希望者に対し、胃部レントゲン検査、法定健診(事業主実施) 喀痰検査、検便検査を実施 ・生活習慣病健診時に希望者に対し、有料で腫瘍マーカー検査機会の提供 ただし、40歳、50歳、60歳については全額補助	・生活習慣病健診時に希望者に対し、胃部レントゲン検査、法定健診(事業主実施) 喀痰検査、検便検査を実施 ・生活習慣病健診時に希望者に対し、有料で腫瘍マーカー検査機会の提供 ただし、40歳、50歳、60歳については全額補助	・生活習慣病健診時に希望者に対し、胃部レントゲン検査、法定健診(事業主実施) 喀痰検査、検便検査を実施 ・生活習慣病健診時に希望者に対し、有料で腫瘍マーカー検査機会の提供 ただし、40歳、50歳、60歳については全額補助	がんの早期発見および早期治療により、重症化および医療費の増加を抑制する	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)
がん検診受診勧奨率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：40% 令和7年度：45% 令和8年度：50% 令和9年度：55% 令和10年度：60% 令和11年度：65%)-												腫瘍マーカー受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：500人 令和7年度：505人 令和8年度：510人 令和9年度：515人 令和10年度：520人 令和11年度：525人)-								
5	既存	適正服薬促進 適正服薬の取組	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	HP,広報誌等で注意喚起を行う	HP,広報誌等で注意喚起を行う	HP,広報誌等で注意喚起を行う	HP,広報誌等で注意喚起を行う	HP,広報誌等で注意喚起を行う	HP,広報誌等で注意喚起を行う	適正服用を推進することで有害事象の発生を防ぐことと併せ、医療費適正化を目指す	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)	
対象者への通知実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												多剤服用者の数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：180人 令和7年度：180人 令和8年度：180人 令和9年度：180人 令和10年度：180人 令和11年度：180人)-								
8	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア	-	シ	-	・事業主とのコラボヘルスにより集団接種を行う	事業所での集団接種、医療機関で接種を受けた場合の一部補助	事業所での集団接種、医療機関で接種を受けた場合の一部補助	事業所での集団接種、医療機関で接種を受けた場合の一部補助	事業所での集団接種、医療機関で接種を受けた場合の一部補助	事業所での集団接種、医療機関で接種を受けた場合の一部補助	予防接種を受けることによりインフルエンザの感染と重症化の予防を図る	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)	
事業実施回数(コラボヘルスにより事業主側が実施)(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												予防接種者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,440人 令和7年度：1,440人 令和8年度：1,440人 令和9年度：1,440人 令和10年度：1,440人 令和11年度：1,440人)-								
3	既存	生活習慣病予防健診	全て	男女	18～74	被保険者	3	ス	-	シ	-	当健保の事業主と共同し、就業時間中の実施	当健保の事業主と共同し、就業時間中の実施	当健保の事業主と共同し、就業時間中の実施	当健保の事業主と共同し、就業時間中の実施	当健保の事業主と共同し、就業時間中の実施	当健保の事業主と共同し、就業時間中の実施	・疾病の早期発見、早期治療・健康状態の把握・生活習慣の改善 ・在職被保険者のうち希望者への生活習慣に係る健康機会の提供	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
未受診者への受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12% 令和7年度：11% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-												受診率(【実績値】 88% 【目標値】 令和6年度：89% 令和7年度：90% 令和8年度：91% 令和9年度：92% 令和10年度：93% 令和11年度：94%)-								
3	既存	婦人科健診	全て	女性	18～74	被保険者	1	イ,ク	-	ア,ウ	-	・本店地区は外部医療機関利用(10月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(10月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(10月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(10月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(10月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(10月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・乳がん、子宮がん等の疾病の早期発見、早期治療 ・女性被保険者のうち希望者への健診機会の提供	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)	
受診者数(【実績値】 158人 【目標値】 令和6年度：160人 令和7年度：165人 令和8年度：170人 令和9年度：175人 令和10年度：180人 令和11年度：185人)-												未受診率(【実績値】 32% 【目標値】 令和6年度：31% 令和7年度：30% 令和8年度：29% 令和9年度：28% 令和10年度：27% 令和11年度：26%)-								
3	既存	主婦健診	全て	女性	18～74	被扶養者	1	オ	-	ウ	-	・本店地区は外部医療機関利用(9月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(9月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(9月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(9月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(9月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・本店地区は外部医療機関利用(9月～1月) ・東海・敦賀地区(9月)	・生活習慣病、乳がん、子宮がん等の早期発見、早期治療 ・女性被扶養者のうち希望者への健診機会の提供	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)	
未受診者への受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：29% 令和8年度：28% 令和9年度：27% 令和10年度：26% 令和11年度：25%)昨年度受けていない方に、案内送付時と同封												受診率(【実績値】 68% 【目標値】 令和6年度：69% 令和7年度：70% 令和8年度：71% 令和9年度：72% 令和10年度：73% 令和11年度：74%)-								
3	既存	脳ドック	全て	男女	35～74	被保険者、被扶養者	1	ク	-	シ	-	受診を希望する35歳以上を対象に脳ドックの受診費用の一部補助、40歳・50歳・60歳については、全額補助	受診を希望する35歳以上を対象に脳ドックの受診費用の一部補助、40歳・50歳・60歳については、全額補助	受診を希望する35歳以上を対象に脳ドックの受診費用の一部補助、40歳・50歳・60歳については、全額補助	受診を希望する35歳以上を対象に脳ドックの受診費用の一部補助、40歳・50歳・60歳については、全額補助	受診を希望する35歳以上を対象に脳ドックの受診費用の一部補助、40歳・50歳・60歳については、全額補助	受診を希望する35歳以上を対象に脳ドックの受診費用の一部補助、40歳・50歳・60歳については、全額補助	・脳血管疾患の早期発見、早期治療	該当なし(これまでの経緯で実施する事業)	
受診案内(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・年度ははじめに40歳50歳60歳に対して案内。												受診率(【実績値】 29% 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：31% 令和8年度：32% 令和9年度：33% 令和10年度：34% 令和11年度：35%)40歳50歳60歳の全額補助対象者								

